

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和4年9月6日
第25号



2日(金)からは、給食が始まりました。子どもたちは給食が始まるのを待っていたかのように、食器におかずを盛りつけ、てきぱきと配膳活動を行っていました。まだまだコロナ禍の感染拡大が収まらず、子どもたちは黙食を余儀なくされていますが、それでもみんなと食べる給食の時間は格別で、楽しい時間の一つになっているようです。

今週からは通常授業が始まり、少しずつ学校生活が軌道に乗っていきます。2学期もまだまだ制約が多い学校生活となりますが、子どもたちに「学びの保障」をするため、今後も感染症対策をしっかりとりながら、基礎基本を大切に授業をていねいに進めていきたいと考えています。 よろしくお祈りします。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



1学期実施「学校アンケート」結果より

よりよい学校づくりのために、1,2学期にそれぞれ子どもたちに向けた「学校アンケート」を実施しています。今回、1学期に実施しました児童用アンケートについて、結果をまとめ、分析を行いましたので、お知らせします。今後の生活指導や学習指導にいかしていきます(%は肯定的意見の割合)。

◇「学校は楽しいか」(93.9%)「授業はわかるか」(93.9%)「意見を言ったり、意見を聞いたりしているか」(91.8%)

肯定的意見の割合から、学校生活を充実して過ごすことができ、前向きに授業に取り組み、学習内容の理解も概ねできていることがわかります。しかし、学級の6%にあたる1人か2人の子どもは、否定的な意見をあげて、そういった子どもの存在を意識しながら学校運営を進めていく必要があると捉えています。

◇「自分のことは大切だと思うか」(94.6%)「友だちのことを考えて行動しているか」(98.2%)

「いじめ」や「なかまはずし」はいけないことだ(99.3%)

子どもの実態に合わせた道徳の授業や特別活動、「人(相手)を大切にする」という教職員の意識、地域や保護者の皆様から温かく見守られているという日常が、子どもの肯定的な回答につながっていると捉えています。

特に『「いじめ」や「なかまはずし」はいけないことだ』という問いかけについては、いけないといった意識が非常に高い結果となりました。今後は心がけや観念的なことにとどまらず、日常生活において、実際に行動へとつながられる子どもが増加するような意識付けを行いたいと考えています。

◇「運動することは好きか」(93.9%)「病気やけがをしないように気をつけて学校生活を送っているか」(92.5%)

体育の授業だけではなく、屋外での活動制限が緩和してきたことで子どもの運動することに対する肯定的な意見の割合が増加していると考えます。本校は年度初めの体力テストの調査結果から、体力低下が明らかとなっており、1学期には捻挫や骨折の事象も何件か起こっています。運動会をはじめとした学校行事等への取組も意識し、新型コロナウイルスへの感染症対策を講じながら、現状改善に向けて取り組んでいきます。

◇「決まりを守って学校生活を送っているか」(95.3%)「行事や活動にしっかり取り組んでいるか」(97.1%)

自分の感覚によって回答している子どもたちが多くと推測されます。具体的な出来事をもとに、定期的に学校生活を振り返る機会を作るなどしていきます。「決まりを守って学校生活を送っているか」については、昨年度と比べ2ポイントほど低下しており、今後の子どもたちの学校生活の様子を見守っていきたくと考えます。

◇「学校の様子を家で伝えているか」(82.8%)

他の項目と比べると、肯定的な回答が10~15ポイント程度低くなっています。ご家庭でも「きょうは学校どうだった? 楽しかった?」など、問いかけていただくことで、子どもからの話をひき出してみてください。

運動場南側の樹木の剪定をしていただきました。

8月23日(火)午前中、地域の「緑の会」の皆さん9名に運動場南側の樹木の剪定をしていただきました。のこぎりを使って太い枝を切ってもらい、ふじ棚の伸びたつるを短く切ってもらいました。運動場も地域の方に、軽トラックで重いグラウンドレーキを引っ張ってもらい、2学期に向けて草のない状態にさせていただきました。本当にありがとうございました。地域の皆様のご厚意に感謝いたします。



(文責 北住 昌文)